

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	高分子合成化学						
科目区分	選択科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース)/選択科目(食品生物資源コース)/選択科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	松本 幸三						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子の名称を理解し、化学式が描ける。 ・モノマーからポリマーが生成する反応式を描ける。 ・高分子の化学変化を反応式で描ける。 ・高分子に関係する化学反応の機構を説明できる。 						
日程と内容	<p>4/ 8 授業の進め方と概要、成績評価法、高分子とは何か、高分子の分子量 4/15 高分子の命名法と高分子を合成するための様々な重合反応の概説 4/22 縮合重合1：いろいろな縮合重合と重付加縮合重合2 5/13 何が分子量を決めるのか 5/20 ラジカル重合1：いろいろなラジカル重合、ラジカル重合のメカニズム 6/ 3 ラジカル重合2：ラジカル共重合 6/10 演習：高分子の分子量、高分子の命名、縮合重合、ラジカル重合 6/13 イオン重合：アニオン重合とカチオン重合 6/17 遷移金属触媒による重合：配位重合、ポリマーの立体規則性 6/24 開環重合：アニオン開環重合、カチオン開環重合 6/25 リビング重合：リビングの概念と代表的なリビング重合系 7/ 1 ブロック共重合体とグラフト共重合体 7/ 8 網目構造の高分子：熱硬化性樹脂 7/15 高分子の化学反応：高分子の官能基変換、架橋反応 7/22 演習：イオン重合、遷移金属触媒重合、開環重合、リビング重合、ブロック・グラフト共重合、網目高分子、高分子の化学反応 7/29 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	40%		100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子の名称を理解し、化学式が描ける。：達成した。 ・モノマーからポリマーが生成する反応式を描ける。：達成した。 ・高分子の化学変化を反応式で描ける。：達成した。 ・高分子に関係する化学反応の機構を説明できる。：達成した。 						
反省点	基礎的な部分を十分に理解させることができた。発展的・応用的な話題にも少しは言及できた。発展的・応用的な話題をもう少し増やすことができればさらに良くなると感じた。重要な部分とそうでない部分のメリハリをつけて説明するようにしたい。						
来年度の計画	基礎的な部分の解説を少し減らして、より発展的・応用的・実践的なトピックスの量を増やして講義したい。集中力を高めるための話題を提供したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容が概ね理解してもらえたようでよかった。						
履修登録者数	43名	定期試験受験者数	39名	合格者数	36名	合格率	92%